

自然光がたっぷり降り注ぐリビングダイニングは、家族が集い憩う空間。まだお子さんが幼いため安全面を考慮し、吹抜けではなく1階の天井を通常より30cmも高いハイスタッド仕様に。装飾のアーチを施しても空間にゆとりがあり、広々としてとても居心地が良い



S瓦特有の波打つような形と質感あるグラデーションが映える。ご主人がかねてより望んでいたというパノラマウインドウは3連ではなく5連にこだわって採用。「希望通りの個性豊かなオンリーワンの住まいになりました。好きな物に囲まれているので、愛着も湧きますね」



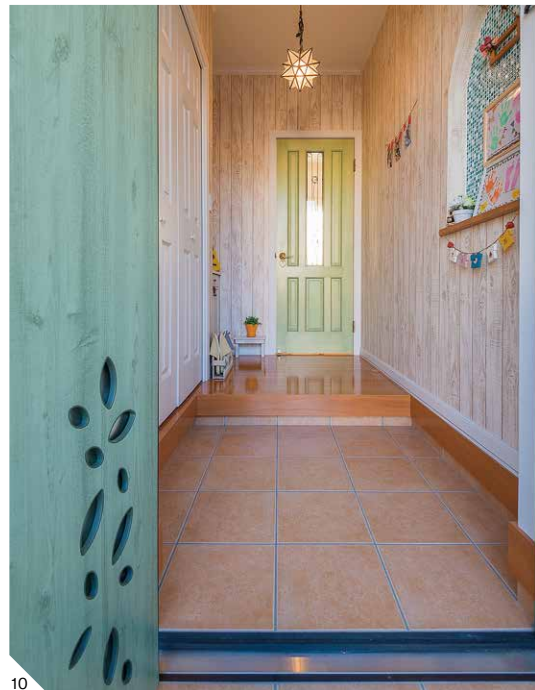
須坂市/K邸

宮田工業株式会社 ブルースジャパンMIYATA

何気ない日常も特別な時間に 憧れのプロヴァンス風住宅

ご夫妻それぞれの故郷の中間地点にあたる須坂市。
初めての子育てにも安心して臨める環境と住まい、
その両方を叶えた喜びが家族の笑顔に表れている。

KEY POINT S瓦が映える南仏風外観 パノラマ5連ウインドウ アーチやニッチ等の装飾



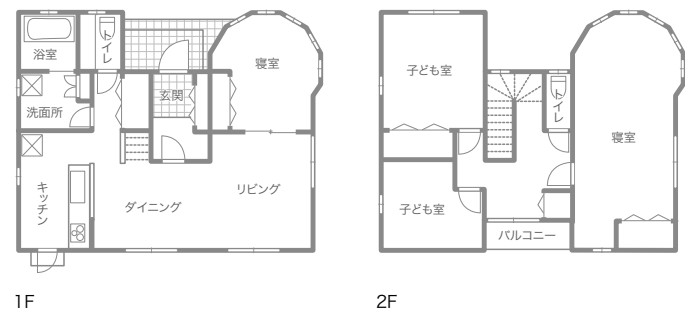
お気に入りの写真や小物が
自慢の住まいの一部となり
仲良し家族の暮らしを彩る

1.パノラマウィンドウが程よく自然光を取り込み、明るく広がりを感じられる2階の寝室。24時間換気システムと全館暖房により冬も快適に過ごせる
2.ウォールステッカーを貼った飾り窓。「私たちの好みをよく理解してくれていて、こちらからお願いしなくてもステキな提案をしてくれました」
3.リビングダイニングの中央あたりに施されたアーチ。レンガ風の装飾が趣を与えている。住まいのあちこちに、こうした職人の技と遊び心が溢れている

4.「子どもが成長しても、帰宅時に顔が見られるように」と、階段は住まいの中心に。リビングダイニングから2階のプライベートルームに繋がる
5.現在は客間として使用している1階寝室。リビングとは引き込み扉により仕切ることができるので、状況・用途に応じて使い分けられる
6.当初の予定を変更してベランダを外に出し、広さを確保した2階ホール。階段を上っていくと明るく広々としていて気持ちが良い
7.苦手な料理も楽しめるように差し色にピンクを採用したというキッチン。広過ぎず狭過ぎずで使い勝手が良く、小さなお子さんがいても家事がしやすい
8.「トイレは気分が上がるピンクを基調に、手洗いはタイルで可愛らしく装飾してもらいました。お気に入りの空間のひとつです」と奥さま
9.2部屋ある子ども室のうちの1室。今はもっぱらボール遊びの空間として使っているが、いずれ家具や小物を選んであげるのを楽しみにしているのだとか
10.アパート住まいの時は狭くて窮屈だったという玄関も新居ではこの通り。照明・壁紙・建具・タイル貼りのニッチなど、「好き」を凝縮させた



HOUSING DATA
 家族構成/夫、妻
 施主/40代・会社員
 施工会社の検討期間/約10カ月
 検討した会社数/6~7社
 工期/約4カ月
 竣工/2014年12月
 構造・工法/2x4
 土地/新規購入(51.47坪)
 延床面積/118.79㎡(35.93坪)
 1F/60.64㎡(18.34坪)
 2F/58.15㎡(17.59坪)
 設計/宮田工業一級建築設計室
 施工/宮田工業株式会社 プルースジャパン
 MIYATA
 ☎026-283-8855



「洋風の住まいに憧れていたため、輸入住宅や最も好みだったプロヴァンス風の住まいを手掛ける施工会社のみアプローチしました」とご主人。集めた資料を比較しながら情報収集を重ねて宮田工業に辿り着く。ピンと来たご夫妻はさっそくモデルハウスに足を運んだ。

「ご夫妻が強く希望したのは、内外観ともに明るく温かな雰囲気のプロヴァンス風で、5連のパノラマウィンドウを備え付けること。さらに、内部にはアーチやニッチなど、職人技を駆使した装飾や造作棚を設けたり、奥さまが好きなピンクをキークラールに採用したりと、日常を明るく楽しく彩る工夫を施すこと。つまり、ふたりの「大好き」と「心地良い」を盛り込んだ住まいの実現を目指した。

「自分たちにとっての正しい判断を下し納得して先に進めるよう、常に十分な情報を与えてくれた。一緒にものづくりをしている感覚で楽しかったです」とご夫妻。そう振り返りながら笑顔を交わす姿に、お気に入りの住まいに囲まれた日々の充実ぶりがかげがえした。

「同社が手掛けた住まいを実際に目にし、思い描いていた頭の中のイメージが具体的な住まいの姿へと変わってゆくのを感じたご主人。担当者の懇切丁寧な説明を受け、「ここなら予算の範囲内で、できる限り自分たちの希望を叶えてくれるだろう」と決心したのだとか。

「ご夫妻が強く希望したのは、内外観ともに明るく温かな雰囲気のプロヴァンス風で、5連のパノラマウィンドウを備え付けること。さらに、内部にはアーチやニッチなど、職人技を駆使した装飾や造作棚を設けたり、奥さまが好きなピンクをキークラールに採用したりと、日常を明るく楽しく彩る工夫を施すこと。つまり、ふたりの「大好き」と「心地良い」を盛り込んだ住まいの実現を目指した。

「自分たちにとっての正しい判断を下し納得して先に進めるよう、常に十分な情報を与えてくれた。一緒にものづくりをしている感覚で楽しかったです」とご夫妻。そう振り返りながら笑顔を交わす姿に、お気に入りの住まいに囲まれた日々の充実ぶりがかげがえした。